

今回のゼミだよりの発行日は12月8日、日本が無謀な戦争を拡大した日。東欧で、また中東で、止むことのない戦いと破壊が続いている、今も…

1月2日のゼミは、レーニン『帝国主義論』の「序文」「1. 生産集積と独占体」を竹内さんの報告で行いました。標題には「最高の段階」とあるが、出版時は「最新の段階」とし検閲に配慮したが、全集版で「最高の段階」となったと言われている。序文では、ロシアを日本、フィンランド・エストニアなどを朝鮮に例え、勢力圏の分割と再分割をいう。第1章で、工業の飛躍的な発展で、ドイツ・アメリカの生産の集中、イギリスでは独占の様相が異なる。大規模な工業の集中化でカルテル・シンジケート・トラストが形成され、競争は独占へと変容される。市場では企業同盟が協定を結び分割され、生産手段は少数の独占資本家へ、また利益は金融操作・投機へと進む。論点として、ここでは独占利潤の源泉、また独禁法後の独占価格が論じられていない。ヒルファディング『金融資本論』は、金融資本と自由競争の制限、利潤率の均衡化の克服、創業者利息を論じ、ホブソン『帝国主義論』・ balan & スウィーザー『独占資本』・北原勇『独占資本主義の理論』を、レント資本主義から超過利潤を論じる佐々木隆治、道具主義型国家独占資本主義・全体主義型国家独占主義を示すズホフ『監視資本主義』の論点を示した。

討論では、ヒルファディングは段階として論じないで銀行が強いドイツから金融資本主義を考え、balan & スウィーザーは銀行からの独立として独占資本、北原は資本の集積集中から独占価格・参入障壁を論じた。今のGAFAMは生産集中ではなく、レントとプラットフォーム、デジタル・レント資本主義がある。機械→重化学→標準化→デジタルICTへと進んできた。帝国主義化の現代：帝国主義戦争→革命は成立しない。市民としての労働者・労働者階級をどう捉えるか。EU・ASEANの役割、ユニオンとアソシエーションをどのように論じるのか。

会場参加は小野さん・川口さん・松村さん・山口さん・高田、オンライン参加は齋藤さん・竹内さん・後藤さんの8名でした。

\* 12月13日(第2週)ゼミも、午後5時半(or 45分)から8時です。

・オンライン情報 Zoom: ID: 899 2401 4864 パスコード: 438756

\* 12月27日のレーニン『帝国主義論』の報告者は、事情により小野さんから高田に変更し、2章「銀行とその新しい役割」のみとなります

\*\*\*\*\* ゼミ日程 \*\*\*\*\*

12月13日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋  
柄谷行人『力と交換様式』第3部2章 資本=ネーション=国家 報告川口さん

12月27日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋  
レーニン『帝国主義論』2.銀行とその新しい役割 報告・高田

1月10日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋  
柄谷行人『力と交換様式』第3部3章 資本主義の終わり 報告者未定  
その後 2024/1/24, 2/14, 2/28, 3/13, 3/27 [アイクルの部屋]